

フロンティアスピリッツ  
先人の開拓精神

# TWUI

## 『ワイトゥイ』

ワイトゥイは、字平安名西部（比殿原、嘉慶名久）の農耕地に通じる断崖を掘削した農道です。長年、村人は比殿パンタの急崖の険阻な山道を登り降りしていましたが、この苦難を解消するために、昭和7年から同10年にかけてこの断崖を掘削、横断農道を開通させました。長さ約150m、高さは最高所で20mもあります。当時のトゥングエー（金鍬）や、カニガラ（石割棒）などを駆使した人々の難工事の跡が刻まれており、その苦難の歴史を知る上で重要です。

※写真は1962年（昭和37年）頃のワイトゥイ



農道開通に尽力した人々（開通当時）

## 内間・平安名の概要

UCHIMA・HENNA

### 内間

—UCHIMA—

字内間は、西は字平安名、東は平敷屋に接しています。1726年に南風原村と村落移動を争って敗れ、現在の地に移動したと伝えられています。その後、1788年に再び、古島に移動を願い出て許可されましたが、現在の地にとどまっています。土地が狭いため、他市町村への人口の流出があり、1950年に石垣島へ16戸（60人）が集団移住しています。毎年、旧暦の6月に馬場において綱挽きが行われています。



### 平安名

—HENNA—

字平安名は、勝連町の中心部に位置し、北は字与那城に接し、東隣は道一つ隔てて、字内間に接しています。集落の南西を県道八号線が東西に通じ、路線バスをはじめ交通の幹線になっています。また、古い歌に「村のまぎさや平安名村」と謡われ、現在の町政の中心地にもなっています。

昔から平安名の人々の気質を表現して「平安名ザークバイ」（座席配り）という言葉があり、集会や招宴で上席や少し目立つ所を避け、席を譲り合うことを指していると言われています。

## INFORMATION

### \*\*\*勝連町の位置\*\*\*

沖縄本島中部の東海岸、中城湾と金武湾の間にある勝連半島の南西半分と浜比嘉島、浮原島、南浮原島、津堅島からなります。



### \*\*\*勝連町の歴史\*\*\*

先史時代の遺跡は51カ所確認されています。遺跡は半島側では南側に多く、津堅島では海岸部に点在、浜比嘉島には洞穴内遺跡が多くあります。勝連町10代目・阿麻和利の時代になると勝連は最盛期を迎えます。徳之島や奄美大島、さらに中国や朝鮮との交流も盛んに行われていましたが、中城城主・護佐丸と争いがおこり、後に中山軍に滅ぼされました。勝連間切は明治41年に市町村制の施行で勝連村となり、1980年に町制に移行しました。



### 沖縄県勝連町教育委員会

〒904-2392 沖縄県勝連町字平安名3047

TEL.(098)978-2227

このリーフレットは、対米請求権事業により作成しました。

きむたかの文化財シリーズ 4



# 内間 UCHIMA · HENNA 平安名



沖縄県勝連町教育委員会

# WAI

